東郷村報

第86号
昭和34年1月15日
発行所
宮崎県東臼杵郡
東郷村役場
日向市富高
株式会社 安藤印刷
電話64番

年頭に当りて

村長　黒木松美

新年おめでとう御座居ます。

多難に終始した昭和三十三年を送り此処に希望に満ちた昭和三十四年の新春を迎えましたことは、村民の皆様と共に誠に慶びに堪えないところであります。年頭に際し昨年を静かに省みますと何をおいても世界の自由、共産両陣営の凡ゆる力が、全く均衡がとれず従つて国際情勢は益々復雑且つ微妙となつたことであります。

又国内におきましては、岸第二次内閣の力強い而も迅速な発足を見て政界は一応安定したように思われましたが経済界の不振は私共国民生活に痛切な反響を及します他教育界における勤務評定の実施は国民相互同志が相争う事態に突入し又国会は警職法案の審議をめぐり遂に変則国会の混乱に陥り政界は動揺のまま越年する等昨年は決して安易な歳ではなかつたと思うのでありますが皇太子妃の決定を見た事であり日本にとつては記念すべき年だとも言えると思います。さて本村におきましては新しく養老年金制度の実施、下水流、羽坂、迫之内地内橋の災害復旧架橋工事の完成、田野小股橋の永久橋架替工事の竣工、越表小学校改増築工事の着工、坪谷仲深八重原地区への農村電話増設、越表萩の原山林問題の解決等村政は地味ながらも漸次その実績を挙げつつありますが之等は凡て村民各位の村政に対する深い理解と絶大なる御支援御協力の賜でありましてここに深く感謝申上る次第であります。

尚昨年は異状天候による凍霜害に引つづき近年稀な大旱魃による大災害を受けたのでありますが村民各位はよくこれを克服せられて予想以上の収穫を挙げていただきましたことはこれ亦感激と感謝の極みであります。

次に東郷農協の整備促進組合の指定については役職員は勿論組合員打つて一丸となり努力せられました結果その目的を達成することが出来整備計画も着々と順調よく進捗しつつありましたが不幸にして既に御承知の板谷製炭事業問題が途中において発生しまして村民の皆さんに大変な御心配を煩していますがこの問題は組合員の代表機関である板谷問題処理委員会によつて慎重に審議されつつありますのでいずれ近日中に私共の納得出来る処理案が出来るものと確信している次第であります。然しながら一千二百余名の組合員の中にはこの問題を御心配の余り東郷農協に対する信頼を欠ぎ従つて熱意ある協力を欠ぐものが出来るのではないかと憂慮致している次第であります。

申上る迄もなく農業協同組合は農家の経済的中心機関であり精神の寄り処でなければならないと思うのであります、今ここで組合の不幸に際し組合員が動揺し組合の運営に対する協力に熱意を欠くことがあつたとするならば農協の運営は直ちに行詰ることは火を見るより明かなことであります。組合員の皆さんお互はお互の組合の再建については今ここで更に今迄よりも強く而も高度の協力をおしんではならないと思うのであります。

「農協が倒れては困る、然し協力することは厭だ」この矛盾した考え方で農協の振興が図り得らるるでありましようか、時には台風も襲来致しましよう、農村恐慌もありましよう、日常の生活においても不慮の災害においても自分を救うものはあくまで自分であり協同の力であることを忘れてはなりません、農協に対する色々な不平不満は率直に意見を述べて反省を促すべきでありますがこの際は一切の行きがかりを捨てて互を信じ愛村の至誠と熱情で固く団結し農協の振興に最大の努力を組合員一丸となつてなすべきだと思います。

私は年頭に際し村政に対する沢山な希望や計画を持つていますが何と言つても農村の基盤をなす農協の振興を出来るだけ速急に図り度い強い覚悟を持つています勿論この間あらゆる困難と犠牲とが考えられるのでありますが、村民の各位と共に烈々たる斗魂と不屈の精神をもつてこの難関を突破しなければなりません、かくしてこその昭和三十四年が初めて光輝ある年となることを確信するのであります。

私はここに村民の皆様の御健康と幸福を祈り村政発展と農協再建に村民の絶大なる御協力を念願し皆様と共にこの一年を幸多かれと祈り年頭の挨拶に致します。

春頌

迎春の挨拶

東郷村議会議長　新名岩喜

茲に新なる年を迎え益々本村の隆昌と村民各位の御繁栄を祈念致します。

旧年は経済界の深刻なる不況により諸事万般萎縮の中に暮れましたが巷間伝えるところによりますと景気好転の年だと謂れ希望に明けた感が致します。何卒本年は旧に倍されまして御活躍をお願い申上げます。

昨年の諸問題も首尾よく納め得まして村勢は向上いたしつつございますことは御同慶に存じます。尚本年は一層の努力を致し一段の向上発展に寄与致さんと決意いたしている次第でございます。

申すまでもなく社会は流動していますし、政治は生きています。寸時も止まるを許しません。政治の要諦は民生の安定に尽きると信じます。此処に経済、教育、土木、保険、衛生等そのことごとくを村民の福祉に基礎づけなければなりません。

その執行は村当局の掌る所であり議会は協議に慎重を期しつつ参りましたが、今尚将来に托された問題がございますが最善の努力を尽し、村政に寄与いたす所存でございます。既に昭和三十四年度一般特別才入才出予算の編成期かと存じますがやがて予算案として村民の前に本村計画の全ぼうが明らかにせられるものと存じます。かくいたしまして本年度の方針が決定いたします。本年は春に魁け選挙の当り年となります、手近な所で県知事、県会議員、市町村長、仝議員と前後して行われまして本村においては村長、議員の任期満了改選となります。

実に多忙でいつとはなしに時の過ぎる事にもなります。現議員は余す任期三月となりました取組む期間も極めて短くなつたのであります、が任期四年を終るに当り村民各位の御指導御協力を常にいただき深く感謝を致します。

以上粗辞を申述べまして年頭の御挨拶と致します。

新春を迎えて

県議　小野弘

輝かしい新春を迎えましたことを村民の皆さんと共に心からお喜び申上げます。

昨年は凍霜害、長雨、旱魃と相次ぐ災害を受けましたが農家の方々の努力によりまして連年の台風災害より比較的軽い災害で終りました。

此処三年、台風の大災害が無い事によつて農山村の経済が除々に向上していることは誠に喜びに堪えません。

然し農山村の経済向上は自然の恵みだけでは向上しません、やはり人為的な努力が必要だと思います。

農山村で一番よわいことは団結した力のないことだと思います、兎角遅れ勝ちな農山村を振興するには一人一人の農家が団結することだと思います。

昨年の県政面では私達の待望している工場誘致も、電気復元も努力がなされたにかかわらず遂に実現することが出来ませんでした。

村政或は県政の面でも重大な問題を解決するには村民として県民として大同団結することが総ての問題を解決する最も大事なことではないでしようか。

今年こそ村政県政の力を充実せしめて一大飛躍の年としなければなりません。

天体に六十年目の周期があると云いますが私達にも四年目の周期が参りました。

過去を反省すると共に、新らしい起点に立つて猪突猛進しなければならぬと存じます。

新春に当りて

東郷村議会副議長　三浦治郎吉

昭和三十三年も除夜の鐘と共に三十四年の新春を迎え力強い息吹のもとに新気一転したような立場において村民挙つて祝福されました事と御同慶に堪えない。

年頭に望み所感の一端を述べて年詞といたしたい。

私達の念願は何をさておいても平和な国家、平和な郷土を希望する迄もない、戦後十有余年を経過した民主国家の歩みをよりよく反省し、その反省の一端を新年度に最高度の平和郷に反映せしめる為にはお互の認識をも深めなければなるまい。

三十三年度の重なる国家的問題は御承知の教育勤務評定、警職法改正案等の問題によつて世相は余りにも社会的にも騒然極める現状下にあり、将来斯様な事態が流行して行くとするならば吾々の希望の平和の二字は正しく葬られ国民こそ憐れな姿にこき落されることは必然であろう。

政府、日教組、総評何れも国民の立場の為の主張かも知れないが、唯斗争の為の斗争の感が深い。改めるべき点は改め、反対の為の実力行使等も冷静に反省して国家繁栄への道の開拓に邁進すべきであると思う。

私達は私達の村東郷村を豊にするために教育をすすめ産業を興し生産を高め、以つて経済難の突破につとめなければならない。

本村には未だ解決を要する諸問題が山積しているがこれ等を解決するにも一万村民の力を結集して邁進するならば必ずや曙光は見出され、平和な郷土になる日も期待できると思う時各位には益々自重自愛致されるよう念願してやまぬ。

年頭に思う

教育長　塩月儀市

明けましてお目出度うございます。

旧年中は本村教育振興のために色々と御指導御協力いただき深謝いたしています。特に昨年は教育界では勤務評定や道徳教育の問題等でごたごたいたしましたが、幸に本村は各校長先生の適正な学校管理と諸先生の深い教育愛と良識によりまして正しい教育運営の出来ましたことは同慶に堪ません。然し勤務評定問題も道徳教育問題も教科課程の問題も解決点に到達しないままに年を越してしまいました。

本年もまた、これ等小、中学校教育上重要な問題ととり組まねばならない年であります。

私共は常に現在を顧み、将来を思い、しかして中道を歩き、本村教育が正しい姿で行われるように渾身の努力をいたしたいと思っています。

社会教育の面では今年は選挙の年でありますだけに公明選挙運動を一層強力に展開して清潔なそして明朗な選挙が行われるようにしなければならないと思っています。荷しくも教養団体である婦人会や青年団等が選挙運動に介入する事は厳につつしまなければならないことでありまして、これ等の団体はどこまでも政治教育の域を逸脱せぬように学習活動を行わねばならないと思っています。

ともあれ年々正しく積み重ねられて今年に及んだ本村の学校教育、社会教育が村民の皆様の御協力御支援によりまして今年もまた正しく積み重ねられますようにと祈念いたしています。

元日

牧水

森なかをわが過ぎゆけばまなかひに小鳥まひはしけふは元日

冬ながらみづ葉かがやく此処の森のみづ葉めでをりけふは元日

森かげを路をゆきつつわが歳の四十三をおもふけふは元日

路ばたの石に落ちたる木洩日の照り匂ひつつけふは元日

春

1959

○新年の光りを浴める尾鈴山紫紺に映えて裾ながくひく　〈中田早苗〉

○除夜の鐘きき終えけふを明日という母の耳もと白毛増えたり　〈川越覚〉

○大きなる眼やさしき猪の絵に『今年は努力します』と書ける生徒の賀状来る　〈いのてるを〉

○雨戸より洩れくる光の一条にそそぐ夜の雨細くさびしき　〈橋口倫子〉

○雲間より光洩れ射す山肌に心明かるむ元日の朝　〈志恒澄幸〉

点滴

◇あけましてお目出度ございます。本年も旧年に倍して御愛読をお願い申します。

◇昨年は村民の皆さまから相当数の原稿をいただきましたが色々の都合で記載できなかつたものもありました。悪しからずお許し下さい。

◇村報はどこまでも公報的な性格を有していますので「新聞」とはいささか趣を異にしていますのでその辺を御勘案の上、どしどし御投稿いただきたいと思っています。

◇建設的な意見でも研究記録でも短歌、詩、創作、随筆、写真でも結構ですから、本年もどしどし御投稿願います。

◇今年は「亥」の年、「亥」には「猪」を配しています。「猪」は目は小さく首は短くあまり恰好のよい動物ではないが元気はよい獣。「猪」のように真一文事に突進するを「猪突」といい、前後も考えないで無鉄砲につき進む武者を「猪武者」という。

お互の生活にも考うべき言葉だと思っています。

◇小さい「さかずき」を「猪口」といいますが、その語源は別として、さしでがましいことなまいきなこと、こがしこいこと、小才あること、などを「猪口才」ということも「猪」の文字で思い出される言葉であります。

◇ともあれ今年は「亥の年」、お互に良識と勇気をもつてこの年を開拓することにいたしましよう。

きれたこの後を追う童田圃道

迎春の詞

東郷小校長
工藤岩男

朝おきて曙光に祈り、ついたちに覚悟を新たにし、春の声をきいては心をはずませ、夕立に目をみはり、秋枯に心をゆさぶり、流れいく時に感激の節を数多くもち、常に清新な気持ちではげみたい。

海野実門
真剣味

一人の真剣万人を奮起せしむ、真剣に依り成らざるものなし、熱だ！誠だ！真剣だ!!真剣に働く者に不景気なし、真剣は身を立て家を起し村を興し国を隆らす。真剣に倚り成らざることなし、顔に愛嬌、心に真剣。

前東小校長
都甲鶴男

「東郷村に誇るべきものが一つ出来ました。それは役場庁舎です。」と言つたことが今年は話題になつてよいですね。村外にいる東郷村民の私としては、何よりの年頭の願いごとです。

前寺小校長
新名猛

常識も良識も平凡で、力も勇気も平凡で、批判も判断も平凡な考えでなし、平凡なことをこつこつやつて行けば、あたりまえに進んで行く平凡な世の中は、人間にとつて幸福ではないだろうか。

坪中校長
武藤季義

今年の御題が窓というのも、何だか平和と明るさを求める国民の期待にゆかりがあるように思える。窓のない家なんか住む気にもなれない、それほど人間は明るさを求めている、窓の前に座り込んで風通しを悪くする無分別をさけたい。

（旧作より）
甲斐善平

△西林のつらら三度おつれば梅咲くとおしえし祖父のなつかしきかな。
△五百重山その山連のほのみえてむつきの空は今斉れむとす。
△おほらかに東の空のしらみ来て明けゆくままに春とはなりぬ。

坪小校長
馬場一義

教育とは、今日行くことである。過去のことにのみこだわらず、将来の理想をのみ夢みず、現在の子供の今日の一歩一歩を正確に踏みしめて、力強く前進させたい。

小野田
寺原勝美

皆さんおめでとう御座います。私は既に五十年過去を反省し努力を続けましたが何一つ身にも附けず又社会のためにもなつておりません。本年こそお互に過ぎし体験を生かし更に一歩努力を積み重ね幸多い村、気持の良い住み良い村としましよう。

坪谷郵便局長
甲斐諭

皆さんけつこうな春を迎えられたことでしよう。謹んで年頭の御あいさつ申し上げます。今年こそ、衣か、食か、住か生活改善の目標をたて貯蓄を致しましよう。金庫の代りに普通貯金、有利な定額貯金、月々積上る積立の御利用を。

前東中校長
河野新

明日への願いのため、今日一日を余りにも粗末にすることが多かつたのではないかと思います。明日も大事だが明日につながる今日も人生にかけがえのない一日だと思います。今年こそ、今日一日を満ち足りた生活が出来るようつとめて行きたいと念願しています。

山陰巡査部長派出所
田中新吉

光陰矢の如くと申しますが山陰で三回目の正月を迎えました、昨年を顧みますと当村では殺人一件（越表）交通事故一件（田野）の重大事件事故が発生し平和な当村で。毎年重大な事件事故が発生しております、今年は亥の年で悪路に迷わず、善路に向つて猪突して行きましよう。

東郷小
浜本東海夫

皇室のおよろこびを中心として平和の陽光輝く新年であることを念願して止まない。教育村といわれる本村の一教師として迎える二回目の新春にあたり、子どもたちのよき友になりたいことをひたすらに思う。

坪小PTA会長
寺原
健

各位よ見よ、あのキラキラとした太陽を!!あれが一九五九年の輝やかしい光なのか、そして全世界の息吹きなのか!!吾は一人想う、時代の流れを、社会情勢の中で実にあわただしい一年間だつたことよ、道教勤評、警法数多い試練が吾々の身辺をクルクルと廻つているのだ。いいのだ、もういい、考えまい過去の事等、忘れようそれよりも各位よ、人間を作ることだ、あの息吹きの中から太陽と共に、お互いにのびることだ。広く大きくのびることだ。

寺迫区長
黒木直義

一九五九年の新春を迎え御目出度うございます。扨て村民の皆様一年の計は元旦にあり、とかすべての事業を計画し向上発展の東郷村、いな明朗なる村を築きたいと念願致します。皆様の御健斗と御多幸を御祈り致し年頭の詞と致します。

東郷村収入役
藤崎今朝男

新年御目出度うございます就任以来三年五カ月愈々最終の年を迎えました。年頭に当り更に職責の大なるを痛感し誠実に任務を完うすべく決意を新たに致しました。村民の皆さま、本年もよろしく御願い申上げます。

国保課長
笠瀬春美

新年お目出度うございます今年はイノシシの年だ保険事業も六年になる今年こそイノシシのごとく猛進し、しつかり根をはり真に村民福祉に努力したい。各位の御協力を切に御願い申上げます。

東郷村助役
中野義男

村民のすべてが健康でお互いの仕事がさらに一歩前進する年でありたい。このことは唯れもが希うことであるが冠山が朝日の障碍になるからそつと置き替える望みとは違つてお互いの注意努力、心構え次第では実現も不可能ではなさそうだ。

村会議員
三尾文子

新春を迎え皆々様の御多幸をお祈り致します。光陰矢の如しとか、議席を得てはや四とせ。何等御期待にそい得なかつた事を心苦しく存じます。四年間を静かに反省すると共に、更に努力して、残された期間を無事につとめたいと思つております。

村青協副会長
松尾八重代

新年御目出度う御座います洗い清めた新気の匂い清々しき中に祝詞の筆を染めさして戴きます。ここに一年間、名のみながらも村青協役員として務めさして戴きました、これ全く皆様の御協力の賜と深く感謝致して居ります。静かな新年を迎え誠に目出度き事の一事にあつまりたれば祝う門には福来ると諺の如く本年はいかばかりか目出度き事のみ多からんと期待を胸に秘めて居ります今後とも宜敷く御指導の程お願い致します。

村青協会長
沖田今朝利

輝かしい新春を迎え慎んでお祝い申上げます。青年活動も年々と成長して参りました事は皆様方の御支援の賜と深く感謝申上げます。私共青年も一層の努力を致し我が郷土の発展に培いたいと思いますので今後共御指導御支援下さるようお願い申上げます。

福小教頭
石川茂夫

「苟に日に新に、日日に新に、又日に新なり。」これは、支那の湯王の盤の銘辞であると言われていますが、私達も、一日一日を清新な気持で迎え、過去を深く反省し、改むべきは深く改め、毎日毎日を有意義に送りたいと思います。

寺小教頭
中竹伊之市

あわただしく暮れた昭和三十三年を今更のようにふりかえつてみる。何という騒がしい落着きのない毎日だつたことか。今年こそほんとうに今年こそじつくりと心を落着けて真実の道を歩き度いと念願している。

寺小PTA会長
海野
倉吉

年頭にあたり村民の御健勝をおいのり申上げます。本年は皇太子様の御成婚の年である、我々も若い昔を思い起し東郷村発展のため大いに頑張らう。先づ教育だ私たちは家庭、学校、社会と一体と成りこの環境の充実をはからねばならない。

村教育委員
杉田三郎

今年は選挙の年、良い政治家を出さねばならない。直に日本の農業と農村を建て直してくれる人を選ぼう。如何に大物でも古い型の人は御免だ、若い人の中から新しい日本は創られて行くだろう。青年諸君が其の気になれば出せるのだ。

村会議員
黒木初美

村民のみなさん明けましておめで度うございます。旧年は年末にさしかかり東郷農協の不振に依る越年対策について種々検討をなしどうにか越年出来ました事お慶び申上げます。本年度はこれが再建のため組合員、非組合員共に一丸となつて過去を反省し充分審議検討をなし速やかに正常に復されん事念願致します。

長田秀太郎

一人残らず、秩序正しい平和な社会生活を楽しむことのできる日本がはやく来て欲しいと思います。そのような日本の建設は、為政者や教育者だけでできるものでなく、国民すべてがその責任を自覚した時初めて実現するでしよう。

陶山勲

門松は冥土の旅の一里塚云々と一休はいつた。そうかも知れん。又或人は六十七十は鼻たれ小僧といつた。これもそうかも知れん。最はや六十の坂を下り始めた。鼻たれ小僧は上り坂でなければならない。エイ亥年だ皆に伍し猪トツ猛進しようか。

東中校長
岩切富士夫

教育界に既に三十年、省みてたださびしさを感ずるのみ。ゆめはあるが実現は困難である。然し希望は失いたくない。「われらのつとめは成功にあらず、失敗にたゆまずして更に進む事なり」先哲の言葉をしみじみと嚙みしめている。

寺小校長
太田安夫

正月には家に日の丸を掲げて、家族みんなそろつて神参りすることが大好きだ。玉ざりをザクザクふんでいくと、我が身に深く幸福がきざみこまれてくるような気がする。私は子供にもしきりに清らかな気持を味わしてやりたいと思う。

福小校長
平田平三郎

兎も角も教育界にとつて騒々しい一年間であつた。これが教育界の黎明に通ずる陣痛であれば幸い、教育界の不幸と昏冥の一段階であるとすると日本の国の前途は暗澹たるものとなる教師たるもの自己を確立し緊褌一番毅然として直立したい。

前寺小校長
山本信

教育の現場と父母との間に『日々の不信』が積重ねられないようにしたいものである。それが、たとえ思想のちがいや政治のまずさに起因するものであつても。教育はすべて信頼の上に行われてこそ立派な効果があげられるものと思うゆえに。

越中主任
中田早苗

昭和三十四年の年頭に当り謹んで新年の御祝詞を申上げます。戦後の新教育も十年の試練を経て新しい年を迎えた。「教育とは愛である」こういう理想を美しいゆめに終らせないように微力を尽して行きたいと思つております。

村婦協長
塩月みどり

新春の御よろこび申上げます。今年は皇太子御成婚の誠に御目出度い年でございます。この好き年を迎えまして元日の御雑煮も一入おいしく頂きました。そして今年こそは妻として又母として社会人としての教養をもつともつと高めなければと強く心に念じました。

東郷小全校児童委員長
井脇和憲

おめでとうございます昭和三十四年の新しい年をむかえ私たち全校生徒は喜びと希望で胸いつぱいです。きつとよい村をつくるよい子になります。昨年よりもつともつと応援してください。

福小児童会長

今年は皇太子様の御せいこんなさるという大変おめでたい年にあたつています。この春卒業する私達は小学校のしめくくりとして勉強や運動にはげみ下級生をいたわつてりつぱな福瀬小学校にしたいと思います。

坪中越表分校生徒会長
森田勝博

新年おめでとうございます私達の学校の生徒も、新しい年を迎えるにあたつて、他の学校に劣らぬような知識と体力と精神を身につけ、卒業してからは、東郷村の柱となり、人に信頼される社会人になろうと信念を持つて励みます。

東中生徒会長

新年おめでとうございます栄えある三十四年を迎え、私達三年生にとつては最後の中学時代でもあり、又就職進学へのスタートでもある大事な年頭に立ち、後わずかに残つた三カ月間を有意義に過したいと思います

村婦協副会長
塩月マサヱ

一九五八年も多忙の連続で送りその一年の収穫は大きな皺が又一つ？しかし皺はふえても希望だけは若く大きく持ち続けたいものです特に今年は選挙の年であり我々の代表者を真剣に選び我が村の発展を心からいのつて止みません。

坪谷小
那須成章

勉強は、人のものでなく、自分のものだ。今年もしつかり努力しよう。又遊び方も研究し、この一年間を楽しく過そう。全校についても努力しよう

坪中生徒会長
矢野昌明

今年はいのししの年だ、いのししは真すぐにしか飛べない動物だそうな、中学生は何もむつかしい事を考える必要はない。むつかしいことは大人が考える、中学生はいのししの様にただ真すぐに飛べばいいのだ。今年はその意気で行こう。

村税を完納しましよう

村税を完納しましよう。慌しい中に亥年新春を迎えまして村民各位の御繁栄の年であると共に今年こそ納税の面でもより一層の成果が得らるよう、決意を新たにされることを望んでおります。

さて毎年今頃になりますと村税の滞納一掃を呼びかけ皆様の多大な御協力を仰いでおりますが、最近の税収の状況は十二月末現在で現年度分調定額二、一四〇万円に対しその収入歩合六三%であり、尚年度末までには少くともおよそ九〇〇万円近い巨大な税収を確保しなければ決算がとれない苦しい実情にあり、この際改めて税の重要性を認識していただき滞納一掃に特別の御協力を願いたいと望む次第であります。

このような実情にありますので役場では皆様の便宜を計るため左記期間特に一部の窓口事務を残し殆んど全員を各部落に出張させて税の徴収に当ることに致しておりますので、滞納村税の完全一掃に御協力されるようお願い致します。

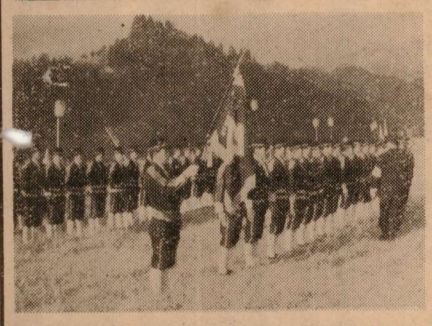
記

一、村税一斉徴収期日
二月五日から二月七日まで三日間

厳たり！
昭和三十四年消防初式

昭和三十四年一月十日午前五時全村に響き渡る非常招集のサイレンと警鐘は厳寒未明の空に高く低くこだまして行く。東郷村消防団の出初式は斯くして開始された。

午前七時五十分集合ラッパと共に全団員入場団長より新入団者四六名に対し任務辞令の交付があつて点検開始。指揮官である各部長の明快適切な指示に従つてきびきびした行動。然し部長も団員も極度に緊張し今日半日は全身全霊を打こんで教練にポンプ操法に協力一致団体行動の極致を発揮した。十二時に本日の最後を飾る分列式車上より指揮する団長の右手がさつと下される や第一部より編成順歩武堂々の行進を展開したときは消防初式の圧巻であつた。終つて成績発表。表彰式に引続き点検長の講評。知事、県協会長、小野県議、日向警察署長の祝辞があり午後二時閉会した。当日の成績は

一、総合成績
一位 第四部 九五、九
二位 第十部 九五、〇五
三位 第三部 九四、六六
二、教練成績
一位 第一位 四八、七六
三、標的落下
一位 第八部 一分四秒一
二位 第九部 一分四秒五
三位 第六部 一分七秒五

景風式初消防